

RECRUITING BOOK

神奈川県住宅供給公社

社員の声を、

お届けします

KJK かげさまで創立75周年
since 1950 神奈川県住宅供給公社

神奈川県住宅供給公社 [RECRUITING BOOK]

発行 / 2025年9月 神奈川県住宅供給公社
デザイン / 株式会社エイエイピー



我ら2022年入社組

若手社員が語る 座談会

入社から2年。今、感じること。 2024年取材



2022年入社組。世間ではZ世代と呼ばれ、コロナ禍ということもあり、会社訪問などが難しく、オンラインでの就職活動も余儀なくされた世代です。実際の社会人生活や働くことに対して不安を抱いていた新入社員であったようですが、2年が経ち皆、会社や社会人にも慣れて成長したようです。

仲よし同期3人組。同期で遊ぶことも度々あるようです。インタビュー中も笑顔が絶えず、楽しくお話が聞けました。

(広報担当)

Q. 神奈川県住宅供給公社を就職先として選んだ理由

内海 大学で建築を学んでいたため、建築に関係する仕事を志望していました。そんな中、東京で合同説明会に参加した時、東京都住宅供給公社さんが出展していて、公社とはどういう団体かということを知りました。それまでは建築・設計関連の会社を探していましたが、公社が建物を建てるだけでなく、そこに人が住み、退去するという一連の流れを見届けことができ、また、団地再生などの取り組みなども行っている企業だと知り、興味を持ちました。「フロール元住吉」(川崎市中原区)の物件を見せてもらった時に、人の住まいについて、ハードだけではなくソフトについても様々な取り組みを行っていると感じ、ハード・ソフトの両面に携わることができることに魅力を感じ、公社を選びました。



青柳 大学の時に塾の講師のアルバイトをしていました。その時に、子どもたちの人生のポイント、ポイントに携わってるなと感じました。そして、就職活動をする際に、人生の節目に関わる仕事に就きたいと考えるようになりました。

住宅を買うことが大きな転換点だと思い、当初は不動産販売がいいかな、と思っていたのですが、大学でまちづくりや地域創生などを学んでいたこともあり、公社の「横浜若葉台団地」(横浜市旭区)のように住宅を売ったり・貸したりするだけにとどまらない、まち全体をつくらせている公社に魅力を感じました。また、生まれが神奈川県ということもあり、地元

献できる仕事につきたいという思いもありました。会社説明では、人事担当の方や先輩職員の方の話は、リアルで嘘が無く、信頼できると感じたことも公社を選んだきっかけです。



高橋 生まれ育った横浜のまちが発展していくなかで、大学の時に、郊外のまちの衰退を目にした経験から団地再生を通して地域に貢献したいと考えていました。また、アルバイトで都市計画事務所やコミュニティサロン運営の手伝いをしていて、団地やまちづくりに興味を持っていました。そんな中、大学で神奈川県住宅供給公社の会社案内を見つけ、事業内容や取り組みを見て興味がわいたのがきっかけです。公社は、地域と密接に関わっていて、色々な団体とも連携しながら継続的に住民を支えるための事業に取り組んでいるところに魅力を感じ、私自身も地域のニーズに応えながら、時代によって変化する住まいのスタイルを築いていきたいと思い公社を選びました。また、大学生の時からご縁があって、団地で暮らしているのですが、団地のコミュニティに魅力を感じています。

「団地再生」「団地コミュニティ」の取り組みに力を入れている企業だったので、私も公社で色々な取り組みに関わってみたいと思いました。



Q. 担当の業務内容について教えてください。

内海 賃貸事業部保全課に所属しています。公社の高齢者住宅「ヴィンテージ・ヴィラ」の住戸内の修繕工事を担当しています。居住者の方が退去し、また新たなお客様が入居することが決まると修繕工事を行います。施工会社と部屋の状態を査定し、カーペットやクロスの張替などの修繕箇所の打ち合わせなどを行います。そして、内容が決まり、着工してからは工事の監理、完成検査等を行います。高齢者施設には専用の仕様があり、住戸内に段差をつくらないようにすることや電気のスイッチの場所等の高齢者の生活に配慮した仕様を学ぶことができます。建築だけでなく、専門外である機械設備や電気設備についても触れることができるため、非常に勉強になっています。



「ヴィンテージ・ヴィラ横浜」で先輩と施工会社の方と修繕箇所を確認

青柳 総務部総務広報課に所属しています。主に従業員の健康管理など労務に係ること、社屋の維持管理、人事に関する人事評価制度の見直しや採用関係、人材育成などの業務を担当しています。現在社屋ビルが大規模改修中なのですが、2022年にはそのためのオフィスの移転に関する業務も担当しました。今年の秋には、また本社への戻り移転があります。会社の歴史の中でも重要なイベントになると思うので、新しい社屋に皆さんが喜んで戻れるよう進めていきたいと思っています。最近では、「わからないことは青柳に聞く」という方も増えているので、頼っていただけてうれしいです!



オープンカンパニーで学生に公社の事業や物件について詳しく説明

高橋 賃貸事業部若葉台創生課に所属しています。「横浜若葉台団地」における新事業やコミュニティ拠点での取り組みを担当しています。高齢者や車いす使用者の住替先として、従来の一般賃貸住宅を改修するバリアフリー住宅の設計を行っています。入社1年目に色々と教えていただいた先輩が2年目には異動になり、その先輩の業務を引き継いだので大変ですが、先輩の「いつでも相談していいよ」という言葉に救われています。



自分で設計した「車いす使用者用住居」のモデルルームの内覧会やメディア取材に対応

Q. 公社への就職を考える方に一言お願いします。

内海 無理に自分を飾らず、自分のやりたいことを素直に考え、それを重視して会社を選ぶのが大事だと思います。社会人になるのは心配で不安だとは思いますが、公社は働きやすい・働き続けやすい環境だと思います。公社のみなさんが話しやすい環境を作ってくれるので、安心して働ける会社です。やりたいと思ったことをやらせてもらえる環境だと思います。

青柳 やりがいを持って働くことができる会社だと思います。従業員数が多い会社ではないので、皆さんの名前と顔がわかる職場です。アットホームで話しやすく、わからないことなど聞きやすい雰囲気、やさしく教えてもらえる環境なので安心して働ける会社です。

高橋 社内でのコミュニケーションが多い職場なので、いろんな人の意見を聞きながら、それを受けつつ、自分の意見も言える職場だと思います。みんなで力を合わせて仕事をしているという感覚をととても感じます。他の課であっても横のつながりがあり、それぞれの部署に専門性のある方が多くいるので、気軽に「相談」もしやすい環境です。

記事の全文はこちらへ



豊かに暮らしていける 団地の実現を目指す

大西 脩三
高齢者事業部 募集課 (2020年入社)

記事の全文は
こちらへ



子育ての経験が 活かせる職場

並木 文栄
賃貸事業部 運営企画課 (1996年入社)

記事の全文は
こちらへ



みらいへのプロジェクト動画
人と地域をつなぐ
賃貸住宅
「フロール元住吉」



並木さんの思いが詰まった「フロール元住吉」(川崎市中原区)の前

Q 神奈川県住宅供給公社を 就職先として選んだ理由

初めは民間の不動産開発業務を志望していましたが、その後の人の繋がりが見えない仕事だと感じていました。しかし、公社の賃貸住宅は入居した後の生活も見守ることができるのではと思ったことが公社に応募した理由です。そして、高齢者事業部の募集課に配属されました。最初の配属先が高齢者事業部で、しかも営業と知った時は「えっ？」と驚きました。人と話すのが得意ではなく、事務作業を淡々とやるタイプだと思っていたからです。高齢者の方から見たら孫のような年齢のせいか、皆さまに可愛がっていただきながら仕事をしています。

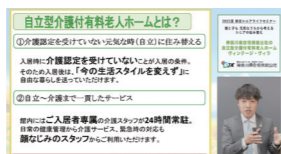


Q どのようなお仕事 されていますか？

高齢者事業部の募集課で有料老人ホーム「ヴィンテージ・ヴィラ」の入居者募集業務に携わっています。この「ヴィンテージ・ヴィラ」は、1990年に公的住宅供給機関としては全国で初めてとなるケア付き高齢者住宅「ヴィンテージ・ヴィラ横浜」を開設。現在は、横浜のほか、向ヶ丘遊園、洋光台、相模原、横須賀と神奈川県内に5施設18室を展開、全入居者約900名(平均年齢85歳)の方が入居しています。

Q コロナ禍での高齢者住宅の 入居者募集について

入社後、高齢者住宅セミナーや個別見学会といった入居者募集のイベントが感染症対策のため思うように実施できない時期が続きました。従来どおりのお客様を集めてのセミナーができないので、代替としてオンラインでのセミナーやオンライン見学会というカタチで開催し、現地の映像などを見てもらうように工夫しました。



オンラインセミナーの様子

Q 大西さんの 「みらいへのプロジェクト」とは？

高齢者事業の仕事が続けてきていて、高齢者にとって大事なことも見えてきました。今後は、高齢者だけではなく、ほかの世代の大事なことも見ていきたいです。高齢者や若者の大事にしていることというのを団地でも実現させるのが一番の理想のカタチだと思うので、両者とも豊かに暮らしていけるような団地の実現というのが、一番理想的な形ではないかと思っています。



200人を超えるセミナーでヴィンテージ・ヴィラを説明する大西さん

Q 神奈川県住宅供給公社を 就職先として選んだ理由

大学で建築学を専攻していた頃から「庶民が暮らす住宅が、素敵で良質なものであること」が本当の豊かさにつながるという思いがありました。よりよい環境や暮らしやすい家というものの仕事に携わっていったらという思いがあり、また、公的事業が主体である公社ならその仕事が出来ると信じ就職先を選びました。入社して民間住宅課(当時)に配属となり、地主の方が所有される土地に特定優良賃貸住宅を建設する業務で工事現場を回る日々でした。その後、設計課(当時)に転属となり、戸建てやマンションの設計を担当し、当時は建築的にデザイン性の高い住宅づくりに意識が向いていました。その後、結婚、出産を経験し「本当の豊かさ」とは何かを考えるようになった頃、建築的なデザインだけでなく、暮らしやすさにつながる、一見目には見えにくいくみの設計も担うべきではないかと意識が少しずつ変わってきました。

Q 子育ての経験を活かした 物件とは？

建替え担当として10年勤務する間に、3件の賃貸マンションの商品企画を担当しました。2件目に担当したのが子育て応援賃貸住宅をコンセプトにした「フロール新川崎」(川崎市幸区)です。マン

ション内に認可保育所を開設するなど子育ての負担を軽減できる仕組みを考えました。これは私が産休に入った時、何年も住んでいるマンション内に誰も知人がいなく、密室育児の状態となり孤独で辛い思いをした経験があったからです。育児をする中で、子どもとひたすら二人で向き合わなくてはいけない生活が心細くて、周囲に顔なじみや同じような悩みを共感・共有したり、たわいもない話ができる人がいたならという思いがありました。そういったタイミングでの仕事だったので、ぜひ子育て支援、コミュニティ賃貸住宅を作りたいと思いました。少しでも人と話せる場があることでママは救われ、育児や家事に前向きに向き合うことができます。ママの気持ち明るくなるよう「フロール新川崎」では共用部の空中庭園



子供たちが安心して遊べる「フロール新川崎」(川崎市幸区)の空中庭園

やお住いの方が予約して使える集会室などを設けるとともに、ママ友を作るきっかけとしてベビーマッサージやヨガ等のイベントも公社が専門家に委託し定期的に支援するようにしました。その後「フロール新川崎」内で子育てサークルが発足する等、入居者の方々の力をお借りして良い方向に展開していますが、中にはイベントが苦手な入居

者の方もおられ、イベントに限定した支援には限界があることも学びました。



「フロール元住吉」2020年グッドデザイン賞を受賞

Q 続く「フロール元住吉」で 更なる進化を遂げるのですね

「フロール元住吉」のように家賃を生まないラウンジやカフェを併設することは、効率性を優先する民間企業には難しいと思います。社会の課題解決に繋がる試みを期待されている公社だから、付加価値がある実験的な物件を提供できたと思います。現在は、賃貸物件の管理業務を行う部署にいます。お客さまが入居した後、どのような問題が発生するか、求められている物は何かをリアルに汲み取ることができます。居住者の豊かな暮らしを叶えるものは何か、今後も真剣に向き合っていきたいです。



「フロール元住吉」での、子育て応援イベント

就活生へのメッセージ

MESSAGE

自分がその会社で働くイメージを持てるのが大事だと思います。会社訪問をして、公社職員の方と交流をした時に感じたのがアットホームな空気感。ここで一緒に働けたら良いなと思いました。営業を担当することになったのは意外でしたが、おおむね最初にイメージした内容と合っています。公社のホームページなど見ていただければ、公社の歴史の長さや取り組んできた事業がわかるとと思います。

就活生へのメッセージ

MESSAGE

3人の子供がいますが、子育て制度の充実や同僚の理解がありワークライフバランスがとれる職場です。入社5年目で自己啓発休業制度を利用して1年間休職してアメリカの建設会社で働く経験もしました。渡米した頃は仕事にも慣れ、外の世界に移り住んでいた時です。1年間公社を離れたことで、場所によって課題は違っていて通じる完璧な解はない、自分が籍を置いている公社でベストを尽くそうと思うことができました。いろいろな経験をしたい方、多角的に不動産業を理解したい方に公社は向いています。私は大学生の頃からの思いを実現できて、公社に入社して間違いなかったと心から思います。

神奈川県住宅供給公社 概要

名称 | 所在地 神奈川県住宅供給公社 | 横浜市中区日本大通33番地
総人数 86名 [内訳:職員84名、嘱託2名] (2025年7月1日現在)

令和6年度損益状況

事業収益	172.2億円	経常利益	22.0億円
当期純利益	15.3億円	資産合計	2,023.3億円

資本金

3,000万円 [出資者:神奈川県1,500万円 | 横浜市750万円 | 川崎市750万円]

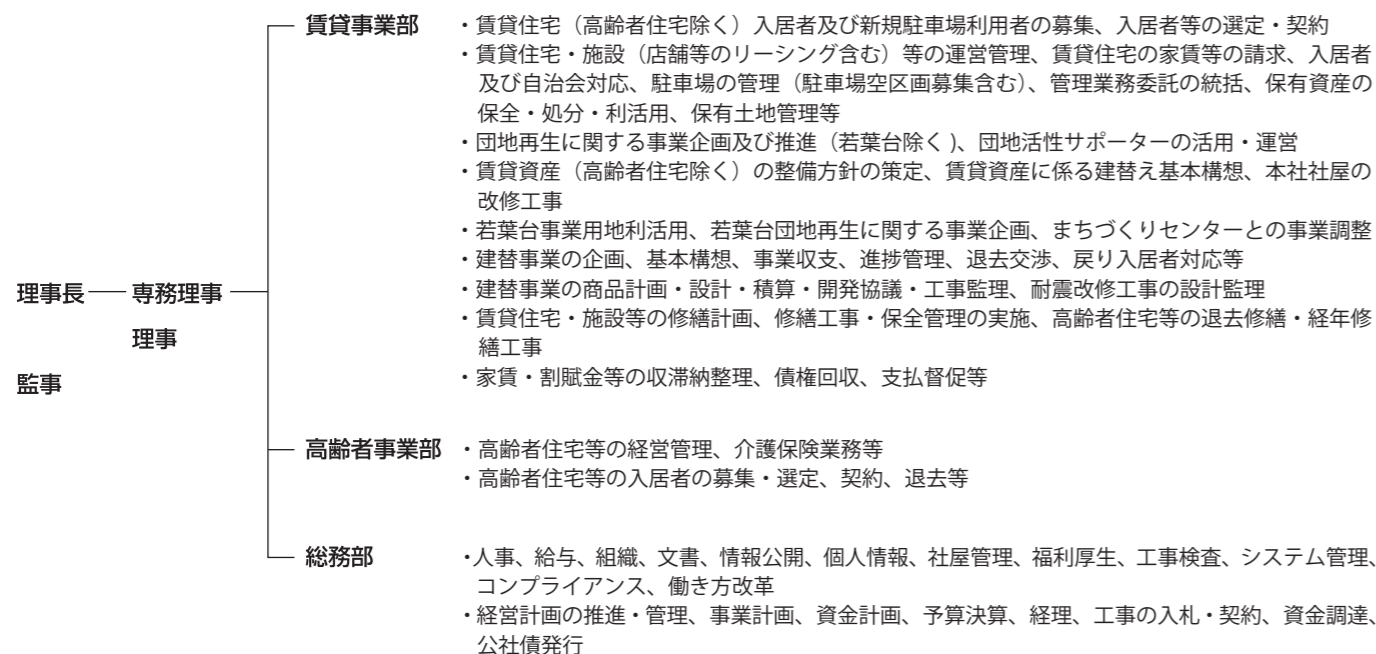
主な事業 [2025年3月31日現在]

種別	内訳	団地数等	戸数等	令和6年度事業収益
一般賃貸住宅事業	一般賃貸住宅	115団地	13,575戸	98.0億円
高齢者住宅事業	介護付有料老人ホーム	6施設	818戸・151室	41.9億円
賃貸施設事業	店舗・事務所等 駐車場	59箇所	13,925台	29.2億円

長期発行体格付

AA+ [安定的]
株式会社日本格付研究所(JCR) 2024年3月8日付

神奈川県住宅供給公社 組織図 [2025年4月1日]



どんな職場なの？

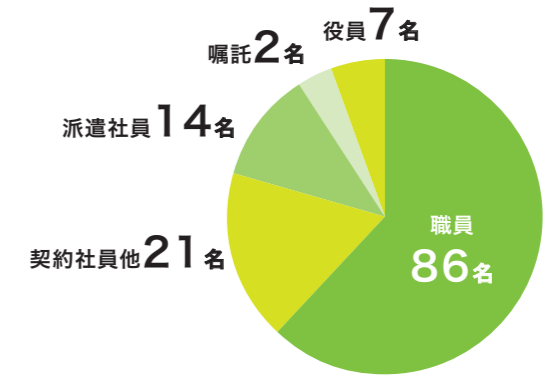
会社の 気になる 数字

2025年4月1日時点

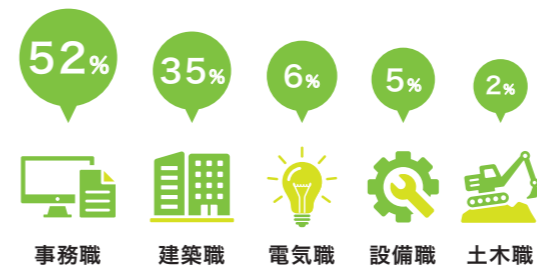
従業員数



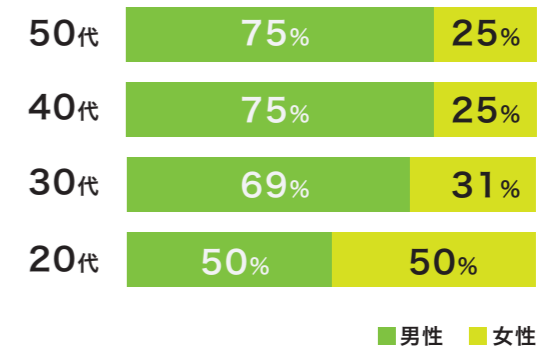
合計 130名



職種構成



男女比



平均年齢



年間休日・休暇日数



令和6年(夏季休暇5日、年末年始休暇含む)

※従業員数を除くすべての数字は正職員のみを母数としています。

このほかの会社の気になる数字は、こちらから▶

